

地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同  
地球環境変化の人的側面 (HD) 分科会 (第24期・第4回) 議事要旨

1. 日時：平成30年9月7日(金) 13:00~15:00
2. 会場：日本学術会議6-A(2)会議室
3. 出席者：氷見山幸夫(委員長)、阿部健一、石川義孝、岡本耕平、櫻井武司、春山成子、山口しのぶ、吉田謙太郎、亀山康子  
(欠席：近藤昭彦、篠田雅人、城山英明、中村桂子、山形与志樹、山田高敬)
4. 配布資料
  - ・前回議事要旨
  - ・昨年7月3日に開催されたシンポジウムのプログラム(参考)
  - ・ 同 申請書(参考)

5. 議事

(1) HDに関する国際的・国内的動向について

- ・氷見山委員長より近況が報告された。WSSF(世界社会科学フォーラム)が福岡で開催される。今回が4回目。今まではISSC(国際科学会議)が主催していたが、ISSCがICSU(国際社会科学評議会)と合体してISC(国際学術会議)となった後初めての会議となる。自然科学主体のICSUと違い、ジェンダー、セキュリティ、貧困の問題など、現実社会の深刻な問題を直接取り上げている。また、ICSU、ISSC、CIPSHが2016年に実施したInternational Year of Global Understanding(IYGU)について、これを今度はyearではなくdecadeにしようという動きがある。最近ICSUとISSCが合体したが、その背景には両者が共同で実施したこのような活動の蓄積があった。ボトムアップでグローバルな問題に対処する動きを促進しようという意図がある。
- ・山口委員より、Asia-Pacific Meeting on Education(APME)(UNESCO, UNICEF共催)に関する報告があった。SDGsにおける教育のゴールに関する7つのターゲットのうち1つを取り上げて議論している。今回はアジア太平洋としてターゲット4.7を議論した。教育の中でどうやって持続可能な社会を実現するための手法を盛り込んでいくかが議題となっている。ESDとの兼ね合いで日本の事例から学ぶことが多い。その宣言のドラフトがファイナライズされたら本分科会に共有する。ターゲット4.3, 4.4も重要。各地域で行われた会議の総まとめが1年に1回パリで開催される。今年は9月に開催される。米国はUNESCOに入っていないが、オブザーバとして出席している。

(2) 公開シンポジウム

- ・公開シンポジウム「地球システムと私たちの生活—人新世時代の想像力」を12月16日(日)東京大学農学部キャンパス弥生講堂で実施することとした。提案書は9月14日までに学術会議に提出。主催はHD分科会と総合地球環境学研究所(地球研)。
- ・12月15日(土)に地球研が主催する「東京セミナー」が駒場で開催されるので、それとのシナジー効果が出るようにする。東京セミナーの対象はリーディング大学院プログラム関係者。学生のポスターセッションとワークショップで若い人が多数集まる。こちらにも分科会メンバーは参加してほしい。

シンポジウムのプログラム(予定):

総合司会・開会挨拶：春山

主旨説明：阿部

講演 1：岡本：人新世という言葉の由来と背景

講演 2：亀山（パリ協定関連）

講演 3：山口（社会開発と技術）

講演 4：吉田（技術革新と環境保全）

講演 5：櫻井（ネパールの森林、日本の入会地）

講演 6：石川（田園回帰、引退者の地方への移住）

閉会挨拶 氷見山

講演者は 10 日までにタイトルを阿部委員に送ることになった。ちらしを 11 月 14 日までに作成する予定。

### (3) JpGU 2019 年大会国際セッションについて

- ・当初は学会の分科会主催活動として位置付けられていたが、数年前、大会参加料が発生することから「公開」が原則の分科会主催活動として認められなくなった。しかし、HD セッション自体は意味があることから、その後も継続している。
- ・参加者と発表者を増やす努力が必要。日程は 2019 年 5 月 26 日（日）～30 日（木）幕張。26 日（日）か 27 日（月）にセッションをもうける方向で準備を進めることになった。

### (4) 公開シンポジウム後の活動について

- ・分科会活動として、「学術の動向」の特集、2 つ目のシンポジウム開催、提言、学術フォーラムなどが考えられる。学会の会議場を使用する場合、例えば来年の 10~12 月に開催するなら 6 月の幹事会で了承される必要があるため、企画書を 5 月に提出しなくてはならない。それより早い場合も 3 か月同様に前倒し。次回の分科会で活動予定を具体的に検討する。

### (5) その他

次回の分科会は 12 月 16 日（日）午前 10~12 時 KLaSiCa 小委員会と合同開催することになった。